



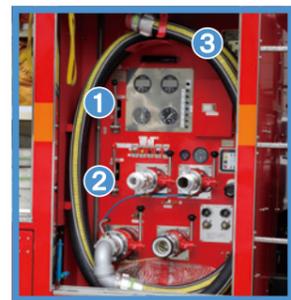
5. 消防隊の装備

消防車のしくみや、安全に火を消すための工夫を見てみよう。



火災などへ立ち向かう装備を見てみよう！

水槽のついた消防車に、ホースをつないで火を消します。水槽には、約2,000L [牛乳パック (1,000mL) 2,000本] の水をつんでいますが、火災の時は、5分ぐらいですべて使ってしまう。したがって、水がなくならないように、近くの消火栓や防火水槽から水を吸い上げて使います。



水槽車



1 メーター
ホースに水を送る強さがわかります。

2 放水口
ホースをつなぎ、横についているレバーで水を送ったり、止めたりします。

3 吸管
消火栓につないで水を吸い上げるホースです。



消火栓
配水管につながっています。



防火水槽
公園などに埋められていて、水槽車から約20台分の水を蓄えています。



4 ホースカー
約10本のホースをつむことができ、簡単にホースをのぼすことができます (ホース1本の長さは約20mです)。

火災のデータ(2025年中(速報値))

市内の出動件数 **421件**

建物が燃えた火災の件数 **308件**

火災を消すために使った水の量 **1,584,255L**



隊員は、炎や煙から身を守るためにさまざまな装備を身につけています。

5 防火帽
火や水、落ちてくるものから頭を守ります。

6 キャップライト
火災現場では煙で見えにくいので、ライトを照らして活動します。

7 しころ
顔や耳を炎から守ります。

8 手とび **9 中長とび**
壁などを破壊する時に使います (活動の目的に合わせてとびの大きさを変えます)。

10 防火衣
水を通さず熱にも強い素材でできています。

11 空気呼吸器 **12 面体**
煙などを吸わないようにするため、面体をつけてボンベから送られる空気を吸って活動します。使用時間は活動時で約10~15分、普通の呼吸で約40分です。

13 現場用長靴
炎や衝撃に強い長靴です。釘などを踏み抜かないように底に鉄板が入っています (約200度の熱に耐えられます)。

14 携帯無線機
隊員が動けなくなった時に感知して警報音がなり、ほかの隊員に知らせます。

訓練のようす

いつでも火災現場に行けるようにホースをのぼして水を出す消火訓練や、はしごなどをのぼして人を救出する救助訓練などを行っています。



ドローン

ドローンを配備して、上空からの情報収集や捜索を行っています。



消防隊員が身につける装備は全部で約**20kg**もあります。

火災のほかにも、ガスがもれていたり、ガソリンや灯油が大量にこぼれたりした時も出動するんだ。

